

携帯電話をはじめとしたデバイスの発展
と SNS などのインターネットの発展、
Photoshop 等による画像加工技術の発展
は既存のフォトジャーナリズムやド
キュメンタリーフォトグラフィーの在り
方について大きな疑問を投げかけていま
す。それに呼応するように、欧米を中心
に若手のフォトグラファーによる様々な
取り組みが見られます。トークでは、今
年 4 月に世界報道写真財団の拠点である
アムステルダムで開催された「New
ways of storytelling: What are the
innovative approaches?」にもパネ
ラーとして参加し、また昨年ロンドン芸
術大学でフォトジャーナリズムの修士課
程で学んできた小原が、受賞作の
「Exposure」について、そして、欧米の
様々な写真家の取り組みの紹介を行いな
がらトークを行います。

世界報道写真展 2016「人々」の部1 位
小原一真トークイベント

フォトジャーナリズムは時代にどう向き合うのか

2016 / 6 / 18 SAT 15:00 - 16:30

場所：立命館大学国際平和ミュージアム 1F ロビー

申込不要、聴講無料 ※参観料は別途必要です

お問い合わせ：立命館大学国際平和ミュージアム

京都市北区等持院北町 56-1 TEL:075-465-8151

<http://www.ritsumeai.ac.jp/>

人々の部 組写真1位 小原一真（日本）2015年6月30日、ウクライナ、キエフ



プロフィール 小原一真（おばら かずま）

1985年、岩手県生まれ。フォトジャーナリスト。KEYSTONE(スイス)パートナーフォトグラファー。
ロンドン芸術大学フォトジャーナリズム修士課程卒業。社会構造の中で見えづらくなっている人々
に焦点をあて、ドキュメンタリーの手法で記録している。これまで福島第一原発作業員、戦争孤児
／障がい者、チェルノブイリでの被害者等の取材を行い、主に写真集として発表。写真集「Reset
Beyond Fukushima (Lars Muller Publisher / スイス / 2012)」、「Silent Histories(Editorial RM/ メキ
シコ / 2015)」他、写真は英ガーディアンをはじめ、欧米メディアを中心に掲載される。2014 年手
製本として作成した Silent Histories は米 TIME 紙、英 Telegraph 紙など様々な媒体で BEST PHOTO
BOOKS 2014 に選ばれる。また、2015 年に 1 年かけて行ったチェルノブイリ事故に関するプロジェ
クト「Exposure」は世界報道写真コンテスト 2016 の「people」カテゴリーで 1 位を受賞。